

- 1 総論
- 2 2013年以降の枠組み
- 3 温室効果ガス排出削減対策
- 4 フロン類等対策
- 5 省エネルギー政策
- 6 再生可能エネルギー / 中小水力・バイオマス・地熱

- 7 再生可能エネルギー / 風力
- 8 再生可能エネルギー / 太陽光
- 9 HEMS・BEMS、燃料電池
- 10 環境に配慮した運輸、エコカー
- 11 スマートグリッド・スマートコミュニティ
- 12 災害廃棄物処理、除染

- 13 有害物質の排出規制
- 14 使用済み製品のリユース促進、都市資源開発
- 15 リサイクルの現実
- 16 自治体の先進事例、大学の研究室から
- 17 生物多様性 / 国家戦略・事業者の取り組み
- 18 環境負荷の少ないイベント

INDEX

日本の技術で世界に貢献

— 環境先進国としてメッセージを発信 —

温室効果ガス排出削減への動きが国内外で相次いでいる。2012年12月、カタール・ドohaでの国連気候変動枠組み条約第18回締約国会議。20年からの温室効果ガスの新たな枠組みに向け、作業計画策定や京都議定書の延長期間を決まった。

13年1月、安倍晋三首相は11月の同第19回締約国会議までに温室効果ガスの25%削減目標をゼロベースで見直すことを関係国に指示。技術で世界に貢献していく。攻めの地球温暖化外交戦略を組み立てることも伝えられている。動いているのは地球温暖化対策だけではない。



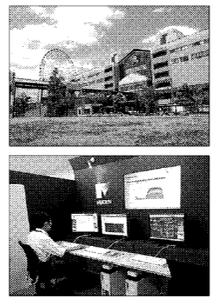
⑤ 新エネルギー・産業技術総合開発機構が千葉県銚子沖で実施している「洋上風力発電システム実証研究」(2013年1月31日撮影)
 ⑥ 環境再生保全機構などが2013年1月にハワイ島で行った現地調査では日本由来と思われる漂着物も確認された(環境再生保全機構提供)



エネルギーで街をデザインする。

MEIDEN Engineer's Note : No.10 スマートグリッド

持続可能なエネルギー社会をつくること。それが、私たちが考えるスマートグリッド実現の目的です。横浜ワールドポーターズでの社会システム実証実験は、その第一歩。スマートBEMS(ビルエネルギー管理システム)によって、施設全体のエネルギー利用を効率化しています。このような施設がつながっていけば、スマートグリッドは実現する。エネルギーと暮らしのステキな関係をデザインすることも、インフラを支える明電舎の仕事です。



横浜に出かける前に、読んでみて。 [明電舎 エンジニアズノート](#) [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。株式会社 明電舎